

団体名	京都橋大学 救急救命研究会 TURF
活動テーマ	防ごう！防ぎえた死 さらなる救命率向上を目指して



心停止の現場においてその場に居合わせた人（バイスタンダー）による迅速で適切な処置の実施は、救命のために非常に重要である。我々は救える命を一つでも多く救うために、心肺蘇生の市民普及とイベントの救護活動を行っている。心肺蘇生の普及活動においては、子どもから高齢者に及ぶまで幅広い年齢層を対象に、対象やニーズ・要望に応じて講習会を行っているが、基本的に簡易型マネキンを一人に一体使用し、短時間の体験型講習を実施している。イベントの救護活動においては、AED や応急手当の物品（バンドエイドや消毒液など）、バイタル測定のための器材を携行し、救護所での対応や会場内を巡回し安全なイベント運営と緊急時の対応に努めている。

これらの活動を通して得られた成果は、心肺蘇生の市民普及において、幼児施設での講習を多く行っているが、幼少期から命について考えるきっかけや体験を作ること、将来学校教育で心肺蘇生を体験したときの興味や関心を高めさせることができるだけでなく、成長段階に応じた繰り返しの訓練により、将来のバイスタンダーの育成につながっている。また一人に一体のマネキンを使用した体験重視型の短時間講習を展開することで、心肺蘇生の講習自体を気軽に取り組めるイメージを植え付けることができる。そうすることで、ちょっとした時間やきっかけで体験してみようという自発的な行動を促し、繰り返し体験することで知識や技術の定着につながり、いざという時の行動につながる。イベント救護においては、学生が会場内を巡回することで事故の未然防止に大きく貢献した。また、医療知識をもった学生が応急手当を実施したり、状況に応じたアドバイスを行うことで参加者や運営側に大きな安心感を与えた。